

学生卒業設計制作NCF空間ディスプレイアワード受賞作品

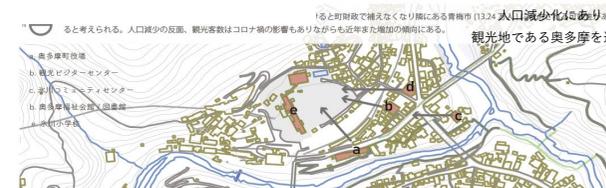
受賞年	2024年	
受賞タイトル	奨励賞	
区分	Ⅱ. 生活ディスプレイデザイン	
フリガナ	キムラ アイ	
制作者名	木村 愛	
フリガナ	トウキョウデンキダイガクミライカガクブケンチクガクカ	
卒業時の大学 学部・学科	東京電機大学未来科学部建築学科	
フリガナ	ヒノ マサシ	職名
推薦者名	日野 雅司	準教授
フリガナ	マチノタミカタ	
作品名	町の畳み方	

概要

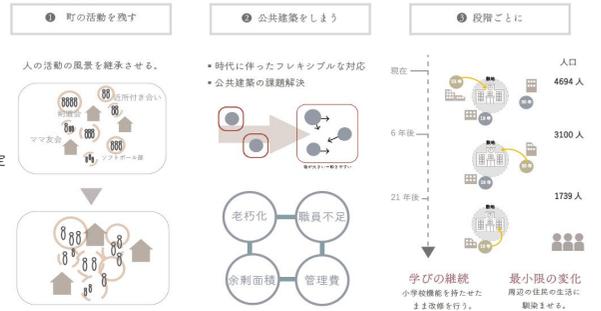


01.人口減少化の公共建築

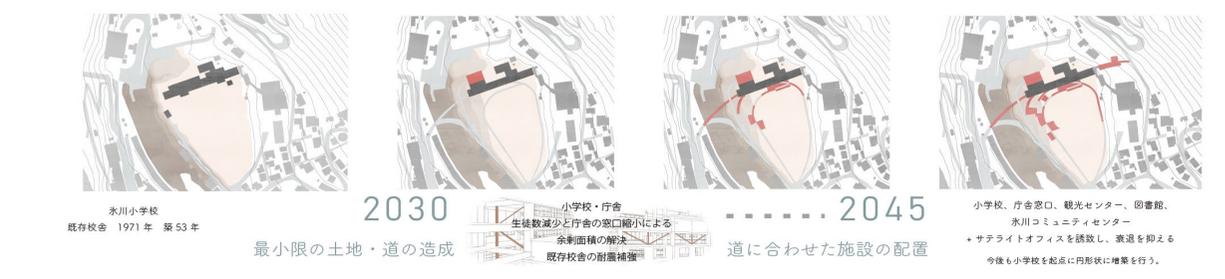
人口減少で多く建てられた公共建築は今後、建て替えるべきか。地方公共建築に対して解く。



02.提案



03.計画ダイアグラム



<p>制作者名</p>	<p>木村 愛</p>
<p>作品名</p>	<p>町の畳み方</p>

【コンセプト解説】

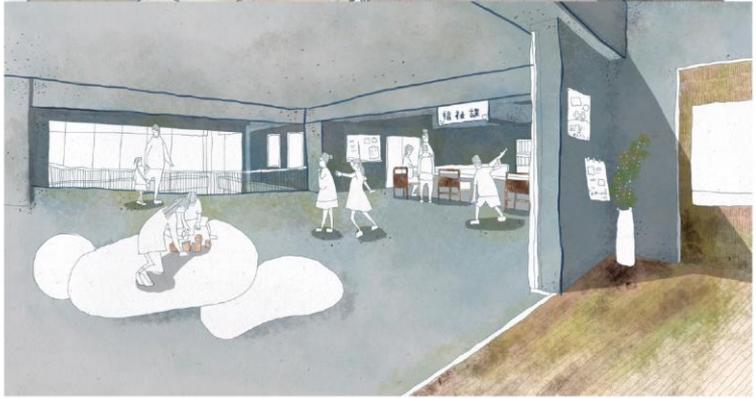
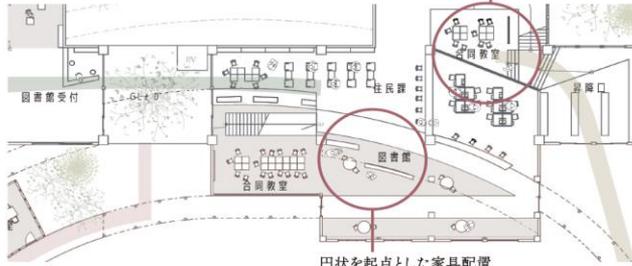
04.動線計画

4-1.円状の増築

既存の小学校に対して奥多摩の観光動線を通すため、観光地とされているハイキングコースを校舎内に通し、児童、役所職員、観光客が交わる動線を計画した。円状に広がる増築部分をハイキングコースに合わせて今後増築を行い、町の寄合地として収縮した町を築いていく。校舎内の改修も円状を起点に行い、今後はハイキングコースの一部と変わっていく。

4-2.役所機能の連携

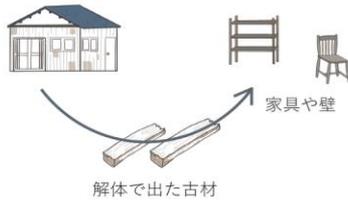
福祉課と学童保育の場所、観光課と学校機能の



05.空間計画

5-1.多摩産材の活用

駅や公共建築で使用されている地域材を活用。空き家からでた古材を増築部分に利用し町に馴染む空間とする。



5-2.新旧一体

既存校舎と改修部分である木を混在させ、新旧混じる新たな小学校の空間を形成した。校舎からハイキングコースへの道は自然と建築が共存するように細く長い建物とし、駅からの入り口となる場所は広場のよう開いた場所を作り人々が行きかう居場所としてカフェを配置した。思い出とともに新しい形で未来



町の畳み方とは



紙を広げた町として



折り畳むことで



小さく濃い暮らしができる

2045

